

資料配布の場所・日時

1. 筑波研究学園都市記者会（資料配付）
 2. 国土交通記者会（資料配布）
 3. 国土交通省建設専門紙記者会（資料配布）
 4. 高松サンポート合同庁舎記者クラブ（資料配布）
- 日時：令和7年7月2日 14時



令和7年7月2日
国立研究開発法人 土木研究所

土研 新技術ショーケース 2025 in 高松 開催

**土木研究所が開発した河川・砂防、道路に関する 17 技術を紹介
また、四国地方整備局からの講演及び大規模地震をテーマとした
パネルディスカッションを実施します**

- 土木研究所が開発し重点的に普及を進めている技術を紹介する「土研 新技術ショーケース 2025 in 高松」を、7月10日（木）、レクザムホールで開催します（WEB 併用）。河川・砂防技術、道路技術等の合計 17 技術の概要説明後、展示会場でパネル・模型・映像等を示し、各技術の担当者が直接技術相談にも対応します。
- また、四国地方整備局から「新技術に関する取り組み」に関する講演が行われるほか、「大規模地震の揺れに対するインフラ機能の確保に向けた技術と取り組み～南海トラフ地震への備え～」と題したパネルディスカッションを行います。大規模地震に対する課題やその課題の解決に向けた技術・取り組み等について意見を交わします。
- 河川・砂防、道路の管理者、コンサルタント及び調査・測量・施工会社等の土木に関わる技術者には是非ご覧頂きたい内容ですので、皆様のご参加をお待ちしています。

開催日：	令和7年7月10日（木）
場 所：	レクザムホール 小ホール棟5階大会議室「玉藻」（高松市玉藻町9-10） WEB 開催の併用のハイブリット方式
参加費：	無料
開催概要：	プログラム・紹介技術の概要は別紙のとおり
申し込み方法：	下記の土木研究所 HP より事前申し込みをお願いします。 https://www.pwri.go.jp/jpn/about/pr/event/2025/0710/showcase.html
主 催：	国立研究開発法人 土木研究所
共 催：	(一社)建設コンサルタント協会四国支部
後 援：	国土交通省 四国地方整備局、香川県、高松市、(一社)日本建設業連合会 四国支部、(一社)全国建設業協会、(一社)全国測量設計業協会連合会

※途中退室自由（CPD CPDS 希望者は除きます）

※建設コンサルタント協会 CPD 認定プログラム（予定）

全国土木施工管理技士会連合会 CPDS 認定プログラム

問 い 合 せ 先

国立研究開発法人 土木研究所
技術推進本部 上席研究員（特命） 澤田 守
電話 029-879-6800（直通）

土研新技術ショーケース 2025 in 高松

2025年7月10日(木)

10:00 ~ 16:30 (開場・受付開始 9:30 ~)

レクザムホール (香川県民ホール) 小ホール棟5階 多目的大会議室「玉藻」

開催方式◆会場開催およびWEB開催のハイブリット方式

※申込みは右の
QRコードから
アクセス



参加費無料

途中聴講自由※

※CPD, CPDS 希望者以外

プログラム

- 10:00~10:15 開会挨拶 国立研究開発法人 土木研究所 理事長 藤田 光一
- 10:15~10:20 来賓挨拶 国土交通省 四国地方整備局
- 10:20~11:10 国土交通省四国地方整備局からの講演
四国地方整備局における新技術の取り組みについて
四国地方整備局 四国技術事務所 事務所長 田中 元幸
- 11:10~12:00 展示技術のインデクシング(17技術について1技術約3分で概要を説明)
- 13:00~14:30 【展示会場】展示技術紹介
(web聴講者は代表技術を動画でご覧いただけます)
- 14:40~16:20 パネルディスカッション
大規模地震の揺れに対するインフラ機能の確保に向けた技術と取り組み
~南海トラフ地震への備え~
- 16:20~16:30 閉会挨拶 建設コンサルタンツ協会 四国支部長 天羽 誠二
(敬称略)

展示・技術相談コーナー

9:30~15:00 は、17の展示技術をはじめとしたパネル等を表示しています。13:00~14:30 は職員が技術紹介を行い、技術相談にも対応します。



展示技術

題 目	所 属	説 明 者
①低炭素型セメント結合材を用いたコンクリート構造物の設計施工ガイドライン	iMaRRC	主任研究員 櫻庭浩樹
②コンクリート構造物の補修対策施工マニュアル	iMaRRC	主任研究員 櫻庭浩樹
③コンクリート構造物における表面含浸材の適用手法	耐寒材料チーム	上席研究員 三原慎弘
④レーザーによる表面処理技術を活用した素地調整技術	株式会社トヨコー	古牧雄二
⑤防水性に優れた橋面舗装	舗装チーム	主任研究員 川上篤史
⑥トンネルの補強技術(部分薄肉化 PCL 工法)	PCL 協会	駄原剛弘
⑦極大地震動にも備える耐震補強技術(耐力階層化補強RC橋脚)	CAESAR	上席研究員 大住道生
⑧地すべり災害対応の BIM/CIM モデル	地すべりチーム	上席研究員 杉本宏之
⑨大変位対応型孔内傾斜計	地すべりチーム	上席研究員 杉本宏之
⑩グラウンドアンカー飛出し防御装置	施工技術チーム	特任研究員 近藤益央
⑪写真計測技術を活用した斜面点検手法	防災地質チーム	上席研究員 日外勝仁
⑫水門などの開閉状況の一元監視システム用伝送フォーマット	先端技術チーム	主任研究員 山口武志
⑬3D 浸水ハザードマップ作成技術	寒地河川チーム	上席研究員 前田俊一
⑭多自然川づくり支援ツール (iRIC EvaTriP)	自然共生研究センター	主任研究員 宮川幸雄
⑮河川管理の現場における環境 DNA の実装と環境情報の高度化	流域生態チーム	特任研究員 村岡敬子
⑯透明折板素材を用いた越波防止柵	寒地構造チーム	研究員 佐々木優太
⑰大型車対応ランブルストリップス	寒地交通チーム	主任研究員 西辻裕文

パネルディスカッション

土木研究所の研究者の他、行政、大学教授をパネリストとして迎え、本地域において関心の高いテーマとして「大規模地震の揺れに対するインフラ機能の確保に向けた技術と取り組み~南海トラフ地震への備え~」を設定してパネルディスカッションを行います。

パネリスト：四国地方整備局 総括防災調整官 清水 敦司
(敬称略) 早稲田大学 理工学術院創造理工学部教授 岡村 未対
土木研究所 地質・地盤研究グループ長 宮武 裕昭
土木研究所 構造物メンテナンス研究センター 耐震研究監 片岡 正次郎
司 会：土木研究所 技術推進本部 上席研究員(特命) 澤田 守

会場アクセス

〒760-0030 香川県高松市玉藻町9-10【電車】JR 高松駅から徒歩約8分
【高速バス】高松駅から徒歩約8分



